



校長通信

令和4年度 5号 令和4年6月10日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《3年生 修学旅行に行って来ました！》

5月31日（火）～6月2日（木）の日程で、修学旅行に行って来ました。新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ、今年度も和歌山県内の旅行としました。3日間とも、お天気に恵まれ、予定していた体験や見学を楽しむことができました。



初日、みなべ町にある紀州梅干館で、工場見学と梅ジュースづくり体験を行いました。社員の方が、干しあがった南高梅をてきぱきとパック詰めしている姿が印象的でした。うめジュースづくり体験では、氷砂糖、色とりどりの金平糖、きび砂糖の3種類から2種類を選び、冷凍した梅とともに、容器に入れて密封しました。常温で保存し、毎日、軽く混ぜて10日後に完成するそうです。

昨年度、10月に実施した修学旅行では、醤油づくり体験をしたのですが、醤油は、完成するまで1年かかるので、昨年度の3年生は、まだ自分でつくった醤油の味を知りません。今回の梅ジュースは、6月10日に完成するので、もうすぐ味わえます。

熊野古道散策は、大門坂から那智大社方面に登っていく組と、那智大社方面から大門坂に下っていく組に分かれて散策しました。登っていく組は、特にハードだったと思いますが、無事、古道散策も楽しめました。子供たちは、133メートル落差日本一の那智の滝の雄大さに感動した様子でした。

2日目、太地湾でのシーカヤック体験では、大きな生け簀で元気に泳ぐ、イルカや小型のクジラを眺めながら、パドルを上手にを使って海上を自由に移動しました。中には、海水をかけ合って、びちょびちょに濡れながら、はしゃぐ子たちもいました。

3日目は、アドベンチャーワールドです。一昨年生まれたパンダの楓浜がとても大きくなっていました。サファリで見る、ゾウやキリンの大きさ、肉食動物の迫力は、普通の動物園では味わえないものです。以前にも家族でアドベンチャーワールドに行ったことがあるという生徒は少なくないと思いますが、何度見ても、動物の動きや表情に、癒されたり、新たな発見があったりします。

旅行中の3日間、大きなけがや病気になる生徒もなく、無事、旅行を終えることができました。今回も、収穫量日本一の梅を使っての体験、パンダの飼育数日本一の動物園、落差日本一の那智の滝、古式捕鯨発祥の地、太地町でのシーカヤック等、和歌山が誇る日本一を体験する修学旅行となりました。子供たちには、今回の修学旅行を通して、地元、和歌山県に誇りをもってくれるようになったらうれしい限りです。地元をよく知っていれば、将来、他府県や海外の国々を旅行しても、より一層楽しく、充実した体験につながっていくのではないかと思います。